

2020年6月5日

各位

太陽生命保険株式会社
代表取締役社長 副島 直樹
東京都中央区日本橋2丁目7番1号

太陽生命、「大阪府住宅供給公社」が発行する「ソーシャルボンド」への投資について ～ESG投融資を通じたSDGsへの貢献～

T&D保険グループの太陽生命保険株式会社(社長 副島直樹)は、ESG投資の一環として、大阪府住宅供給公社が発行する「ソーシャルボンド」(以下「本債券」)への投資を決定しましたのでお知らせいたします。

大阪府住宅供給公社は、2020年3月に株式会社格付投資情報センター(R&I)からソーシャル・ファイナンスに関する外部評価(R&I ソーシャルボンドオピニオン)を地方三公社として初めて取得しており(*1)、本債券は全国の地方三公社に先駆けて発行される初めてのESG債となります。

今般、当社が投資する本債券の調達資金は、建て替えによる新たな街づくり、耐震化による安心安全の提供等の「住まうビジョン・大阪」に即した取組みや公的団体としての社会的責任を果たす事業(高齢者・障がい者、子育て世帯への対応等)に活用されます。

当社は、2007年3月に日本の生命保険会社として初めて「責任投資原則(PRI)」(*2)に署名し、環境(E)、社会(S)、企業統治(G)の課題に十分配慮した資産運用を行っています。今後とも、責任ある機関投資家として、持続可能な社会の実現に貢献できるよう取組みを推進してまいります。

<概要>

- ・発行体：大阪府住宅供給公社(R&I格付：AA-)
- ・名称：ソーシャルボンド
※国際資本市場協会(ICMA)が公表する「ソーシャルボンド原則」に準拠したソーシャルボンド
- ・発行総額：40億円
- ・償還期間：20年
- ・SDGs：ソーシャルボンドによって調達された資金は、大阪府住宅供給公社の事業を通して、SDGsの下記目標の達成に向けて貢献される予定です。



以上

- (*1) 大阪府住宅供給公社 2020年3月31日付ニュースリリース『全国の地方三公社で初めてソーシャル・ファイナンスの外部評価を取得！～社会的課題の解決に向けてESG債の発行をめざします～』より。
- (*2) 責任投資原則(PRI=Principles for Responsible Investment)とは、2005年に当時の国連事務総長であったコフィー・アナン氏が金融業界に対して提唱した原則です。投資の意思決定プロセスや株式所有方針の決定に際して、環境・社会・企業統治(ESG)の課題を考慮し、受益者のために、より優れた長期的な投資効果と持続的な金融市場を実現していくための行動規範です。

